

3 中学校「国語」

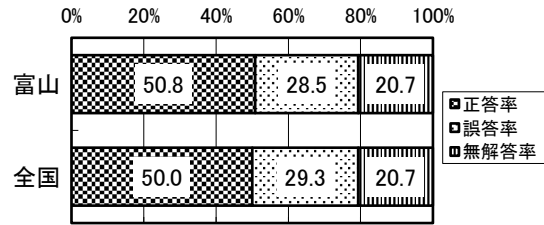
(1) 問題番号4三 <正答率が低く、無答率が高い問題>

学習指導要領の内容：1学年 C読むことエ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

- ・正答率は50.8%で、全国平均よりも0.8ポイント高いが、全問題中で2番目に低い。
- ・無解答率は20.7%(全国20.7%)で、全問題中最高のも高い。
- ・誤答については、文章中の具体的な表現に着目して、その根拠を明確にすることができていない解答が16.4%(全国16.4%)である。



4

石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見付け、読み比べてみました。次は、「授業で読んだ「竹取物語」の一部」の〈原文〉とその〈現代語訳〉、「学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

〈原文〉

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてみたり。

〈現代語訳〉

今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さぬきのみやこといつた。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思っ、近寄って見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】

※文章の内容については、調査問題をご覧ください。

(星新一「竹取物語」による。)

三 【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

正答例

「よろづのこと」を「笠、竿、箒、籠、筆、箱、筒、箸」というように具体的に書いて、翁が竹でどのようなものを作っていたのかが分かるようにしている。

学習指導上の留意点

- 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるようにする
古典の原文と古典に解釈を加えて現代語で書いた作品とを読み比べる場面において、原文と現代語の文章を対応させて、叙述に基づき、文章の構成や展開、表現の効果を考えることが重要である。

指導のポイント

- ・古典の現代語訳や古典について解説した文章等を教材として取り上げ、文章の構成や展開、表現の効果等に注目して工夫されているところを考える活動を取り入れることで、「読むこと」を通して古典の楽しみ方を理解できるようにする。
- ・古典の原文と比較したり関係付けたりすることで、古典の原文やその作品の世界に、生徒の興味・関心が向かうようにする。
- ・叙述に基づき、自分の考えを支える根拠となる段落や部分を明確にして、構成や展開、表現の効果について自分の考えを書いたり、発表したりする活動を取り入れる。

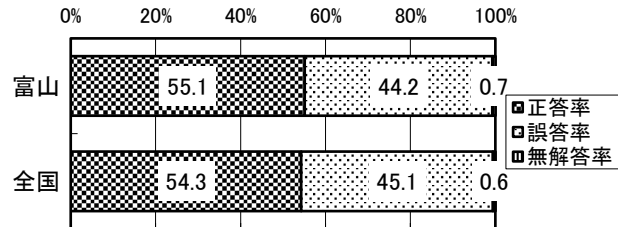
(2) 問題番号 3 — <正答率が低い問題>

学習指導要領における内容：1 学年 B 書くこと E

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 読み手の立場に立って、叙述の仕方等確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。

- ・正答率は 55.1% で、全国平均よりも 0.8 ポイント高いが、全問題中 3 番目に低い。
- ・誤答については、「もち」を「もったため」と直すことで、「ため」の前後の関係が「原因と結果」の関係になることを十分に理解しておらず、推敲の意図を捉えることができなかったと考えられる。



4 3 2 1

「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。

「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。

「判じ絵」を調べることになった理由を明確にしようとした。

「判じ絵」について

山田 光一


1. はじめに
学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。

2. 調査方法
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。


3. 調査結果

■ 「判じ絵」とは何か
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。(ア) ただし、【図1】のように、描かれているものと意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし置って考える」が必要になる。(イ) 言ってみれば、なぜなぞやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。

■ 「判じ絵」の解読の面白さ
「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。



【図1】ザル



【図2】スズメ

【図3】は、

3

山田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いてあるレポートの「下書きの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

正答例

4

学習指導上の留意点

- 読み手の立場に立ち、叙述の仕方等確かめて文や文章を整えることができるようになる。書いた文章を推敲する際には、伝えようとするものが伝わるように読み手の立場に立ち、表記や語句の用法、叙述の仕方等確かめて、文章を整えることができるようになることが大切である。

指導のポイント

- ・指示する語句や接続する語句を適切に用いて、原因と結果、意見と根拠等、情報との関係が分かりやすく示されているかなど、学習した知識を観点として示すようにする。
- ・推敲する前と後の文章を比較し、書き換えた理由や意図を説明する学習を通して、伝えようとするものが十分に書き表されているかなどを読み手の立場に立って確かめることができるようにする。

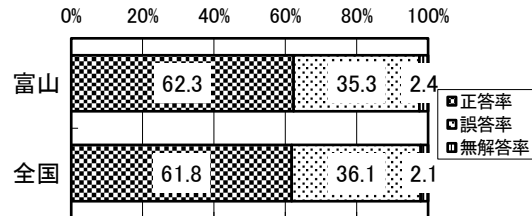
(3) 問題番号 3三 <正答率が低い問題>

学習指導要領の内容：2学年 (2)情報の扱い方に関する事項ア

評価の観点：知識・技能 問題形式：短答式

【出題の趣旨】 具体と抽象等、情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。

- 正答率は62.3%で、全国平均よりも0.5ポイント高いが、全問題中4番目に低い。
- 誤答については、文章後半の内容に共通する要素を抽出し、見出しを考えて書くことができている解答が10.4%(全国11.4%)である。




三 山田さんは、「■「判じ絵」とは何か」と見出しを付けた文章のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所として最も適切なものを、(ア)から(オ)までの中から一つ選びなさい。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

「判じ絵」について

山田 光一

- はじめに
学校図書館の本で、「判じ絵」というものを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。
- 調査方法
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。
- 調査結果
 - 「判じ絵」とは何か
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。
(ア) ただし、【図1】のように、描かれているもの【図1】ザルと意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」が必要になる。(イ) 言ってみれば、なぞなぞやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。
 - 「判じ絵」の解読の面白さ
「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。
【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、鳥の「スズメ」という意味になる。



【図2】スズメ

【図3】は、

【図3】

正答例
(分ける箇所) ウ
(見出し) 「判じ絵」の歴史
「判じ絵」の起源と広がり

学習指導上の留意点

- 具体と抽象等、情報と情報との関係について理解し、使うことができるようにする
具体と抽象の関係を理解するためには、それぞれの言葉の意味を捉えた上で、具体と抽象が状況や必要に応じて使い分けられていることを理解できるようにすることが大切である。

指導のポイント

- 具体は例示の際等、抽象は共通する要素をまとめる際等に使われていることを身の回りの事例と結び付けながら捉えることができるような学習場面を設定する。
- 自分が考えたことを伝える文章を書く際に、段落相互の関係を具体と抽象の関係という観点で見直し、文章の構成や展開を検討する場面を設定する。
- 内容で分けた文章のまとまりに小見出しを付ける学習活動を取り入れる。